



NO. 2525 回

キワニスワンデー学生支援寄付贈呈式

日 時 : 令和3年10月22日(金)

場 所 : マリオットアソシアホテル16階 アイリス

出席者 : 67名

一日議長 : 相羽会長

ハッピーボックス : 13,000円

☆今週のお誕生

福智 寿彦会員 10月17日

野嶋 孝会員 10月22日

相羽会長よりグラスの贈呈

☆会長挨拶

名古屋キワニスクラブ会長の相羽でございます。10月から始まりました当クラブの新年度において、「キワニスワンデー学生支援寄付」の贈呈式を本日開催するにあたり、当クラブを代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、本日の贈呈式には、愛知教育大学 理事・副学長 岩山 勉様、愛知県立大学 学長 久富木原 玲様、愛知県立芸術大学 学長 戸山 俊樹様、豊橋技術科学大学 理事・副学長 角田 範義様に、大変お忙しい中ご来臨賜りましたことを心より御礼申し上げます。

「キワニスワンデー学生支援寄付」は、『Serving the Children of the World』という世界共通のスローガンに基づいて活動している名古屋キワニスクラブが、本年度の社会奉仕の中核事業の一つとして実施する特別事業です。

新型コロナウイルス感染症拡大により、経済的に困窮している大学生・留学生は、緊急事態宣言が解除された現在でも厳しい環境から解放された訳ではありません。当クラブとしては、次世代を担う若者が経済的な困窮の中にあっても、希望をもって学問に取り組めるように、大学生を対象とする支援を行うことを決断致しました。

昨年度は、名古屋市内に本部を置く三つの大学、すなわち名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学に対し、寄付金を贈呈しましたが、本年度は愛知県内に本部を置く本日お越しの四つの大学に支援することと致しました。具体的には、各大学が設置されている学生支援のための基金に対して寄付を行う事とします。

私ども名古屋キワニスクラブの歴史は、1966年の創設以来半世紀を越えました。この間、経済・社会は大きく変容しましたが、子ども達を取り巻く環境も複雑化し、諸問題の困難さが益々顕著になっております。

No.2526 令和3年10月29日(金)
株式会社JTB名古屋事業部
執行役員 中部エリア広域代表
名古屋事業部長 内海 勝仁 会員
「旅行業界の現状とあらたな取り組み」

No.2527 令和3年11月5日(金)
令和4年度 第1回通常総会
※通常総会を先に行いますので
食事は13時頃からとなります。

No.2528 令和3年11月12日(金)
名古屋市科学館 天文主幹 野田 学 氏
「月食と宵空の惑星集合?!」

No.2529 令和3年11月19日(金)
洋画家 斎藤 吾朗 氏
「モナ・リザからのおくりもの」

No.2530 令和3年11月26日(金)
愛知淑徳大学
学長 島田 修三 氏
「和歌と短歌」

No.2531 令和3年12月3日(金)
東海旅客鉄道株式会社 専務執行役員
中央新幹線推進本部 リニア開発本部長
寺井 元昭 氏
「リニア中央新幹線について」

児童虐待やいじめ、子どもの貧困など、日々報道される悲惨なニュースを見るたび、当クラブは、従来にも増して、きめ細かく、地道な奉仕活動を着実に進めていかなければならないと痛感しております。改めまして、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、本日の贈呈にあたり、名古屋キワニスクラブの会員の方のご賛同、ご協力に厚くお礼を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

☆受賞者挨拶

愛知教育大学 理事・副学長 岩山 勉様

本来ならば学長がこちらへ来てご挨拶させていただくところですが、本日は所要により岩山がご挨拶させていただきます。まずはじめに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、困窮学生を支援していただくということで支援金を提供していただきましたことに感謝させていただきます。どうもありがとうございます。他の大学も同様であると思えますけれども、当大学も昨年4月当初から遠隔で授業を開始し、さらに部分的に対面で授業を開始するという状況で進めておりました。今年度に関しましては、やはり大学へ来て欲しいですので、対面と（100%対面は無理ですので）遠隔とを混ぜ合わせたハイブリッド形式で授業を進めております。当大学の場合、特に他の大学と違いまして、大部分が教員になるための教育実習というとても高いハードルが存在しました。そこに関しまして、いろいろな地域の方たち、学校様に協力いただき、問題が起こらないように行うために、特に今年度は教育実習に行く全学生に対して、事前に抗原検査を行い、（本来であればPCR検査が必要ですが、）問題のないことを保証した上で教育実習に送り出すという事をやっております。私どもの大学の場合、やはり大学というのは学ぶだけではなく、学生同士コミュニケーションを取ったり、さらにはアルバイトでお金を稼ぐという側面もあり、いろいろな人生経験を積むという意味でのアルバイトをしたりすることもかなり制限されておまして、結果的にかなり困窮した学生が存在しているのは確かです。それに対し、国、さらに大学としても基金を持っておりますので支援をしておりますが、やはり完全というわけにはいかず、今回このような形でご提供いただきました資金はすごく大事なことで、これをもってさらに学生が大学にきちっと通ってコミュニケーションを取っていけるように進めさせていただきたいと思えます。特に当大学の場合、教育実習の関係で後期の開始が少し遅くなっており、今週からようやく大学が始まりました。今までは閑散とした状況でしたが、ある程度落ち着き、対面での授業も始まっており、学生たちの声がすごく聞こえるようになり、ようやく大学に戻ったなという雰囲気です。ただ、再度感染症が広がった場合には、またクローズしていく感じになるというリスクも当然感じております。大学としては細心の注意を払い、いろいろな対策を行っていきたくと思っておりますので、皆様方のご協力もよろしく願いいたします。最後になりましたが、改めまして、このような資金をご提供頂きまして本当に有難うございました。

愛知県立大学 学長 久富木原 玲様

名古屋キワニスクラブの会長様そして皆様方、この度は経済的に大変な学生に対し、このようなお心寄せをいただきましたことに深く感謝しております。心から御礼を申し上げます。先ほどの愛知教育大学様からのお話にもありましたが、大学だけではなく、社会全般が困難な事態に直面したのですが、学生の場合は4年間しかない大学生活のうち約2年間、大学に来ることが出来ない状況が続き、そのことに大変心を痛めるという時期を過ごしてまいりました。感染状況に応じて少数のゼミなどは対面で行いましたが、教養教育や人数の多いところはどうしても対面授業ができないためオンライン教育で行いました。特に一年生が大変だったと思えます。まず入学式ができませんでしたので、友達もできず何のために大学に入ったのだろうという様な悶々とした気持ちを抱えて過ごしていたことと思えます。昨年の4月～6月頃が一番ひどかったのですが、愕然とした事がございました。それは、学生の姿が全くない代わりに動物の楽園になってしまった事です。イノシシも出ますし、夜になると鹿が走り回り、アライグマも出

ました。私自身もうり坊4匹がお月見をしているのに出くわしたこともございます。自然が豊かだと言う事にはなるのですが、学生たちがいないということを身にしみて感じた出来事でした。ウグイスなども普通は3月ぐらいでどこかの山の方へ行ってしまふのですが、夏になっても鳴いておまして、夏の鳥のホトトギスが鳴き始めると、春の鳥と夏の鳥と一緒に鳴くというようなことになってしまいました。本当に人がいない、学生達がいけないという事を痛感した次第です。今は感染状況も落ち着いてかなり対面授業を行えるようになりました。学生たちが切望しているサークル活動も、少しずつ再開しております。学生らしい生活が少しずつ送れるようになっていないかと、まずは安堵しております。ただ本学は外国語学部がございまして、海外に1年間留学する学生が多く在籍していますが、この2年間全く行けておりません。社会に出てから1年間留学する事はなかなか難しいと思いますので、学生たちはとても残念な思いでいるはずですが、けれども、このたびの100年に1度のパンデミックの状況で今やれることをどれだけやって行くか、自分たちにできることは何なのか、という事を学んでほしいと願っております。そのような学生達に対しまして、このように本当に心のこもった贈り物をしていただきました事に心から御礼申し上げたいと存じます。本当にありがとうございました。

愛知県立芸術大学 学長 戸山 俊樹様

こんにちは。本日は名古屋キワニスクラブさんから学生支援金いただきまして、心より御礼申し上げます。どうしてもコロナの話になってしまいますが、我々の大学は音楽と美術の2学部があるのですが全体で1000人ぐらいの学生数です。大学の規模としては小さいですが、実技を中心とする芸術大学ですのでオンラインで授業はできません。昨年2月にこのような状況が始まり、3月に行った入試は、音楽も美術も10日間ぐらいかけてなんとか一次、二次、三次試験を行い、さて春からの授業をどうしようかと。wi-fi環境や設備も殆ど整っていませんし、そもそも音楽も美術も実技授業をオンラインでは出来ません。感染制御学が専門である愛知県立大学看護学部の清水宣明先生は新型コロナウイルスの感染は接触感染は全く無いとは言えないが可能性としては非常に低く、ほとんどがエアロゾル・空気感染であるとお考えで、その清水先生のお考えを受け、我々は5月中に徹底した学内の換気対策や実験をしながら6月から全部ではありませんでしたが準備ができたところから対面授業を始めました。

例えば音楽だとピアノを共有して使用しますが、通常ですと一回一回使用後に消毒をするのが標準となっておりますが、我々はやりませんでした。空気中のウイルスの濃度を下げような換気対策を徹底して行えば感染の確率はそうとう下げることが出来ると清水先生が仰って下さったので、昨年の6月から換気対策を徹底して対面授業を始めています。我々の大学はオーケストラもあります、合唱もあります、オペラもあります。ですが、学内で人から人へ感染した例は一件もありません。ただ学生たちがアルバイト先やあるいは家庭内感染などで感染してくることは生じています。

6月から対面授業を行っておりますが、常に学生も教職員もマスクをしていますから、どういった顔をしている学生なのか全く分かりません。そのため学生に会った時には声(言葉)での挨拶はもちろんです、できるだけ目で微笑みながら挨拶するという仕方を自然にできる様になると思っています。しかし、こういった状況が長く続くと学生だけでなく教職員も含め心の免疫力がどんどん下がっていきっていると実感しています。早くこの世界的なパンデミックが終息することを願ってやみません。

今回頂いた支援金は、困難な状況にいる学生達のために大切にに使わせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

豊橋技術科学大学 理事・副学長 角田 範義様

豊橋技術科学大学の角田でございます。本来であれば学長の寺嶋が出席して挨拶させていただくところですが、本日は代理で挨拶させていただきます。よろしくお願ひします。キワニスワンデー学生支援という温かい支援は大学として本当に助かっております。

皆さんご存知かどうか分かりませんが、少し大学の事を説明させていただきます。豊橋技科大は、学生のほとんどが高専からの出身の学生でございます。メインとして3年生から入学した学生を学部3年4年、大学院修士1年2年と四年間を一貫で教育し、社会に技術者として送り出すという大学でございます。ですので、高専の場合は基本的に5年間学ぶということになります。中学に入学してから高校の三年間と同じ授業を行い、その後4年5年という形で専門を学ぶということになります。ですから高専を卒業するときに卒業研究というものをやります。その後本学に入ってから3年4年で学部の卒業研究もやります。その後修士に入りますので、修士研究という形でまた2年の成果をまとめるということで、本学の修士を修了する学生は基本的に3回研究成果のまとめを発表する教育がされていることとなります。

私は高専の校長を経験しておりますので高専生がどういう学生かというのは分かっていますが、工学や技術、理科系を学んできている学生が非常に多く、ちょっととんがり過ぎているくらいがあるため、最近ではもう少し社会的な知識を増やそうと、いわゆるリベラルアーツを学んで社会に送り出さなければならないのではと考えております。技科大もそれを修士課程に取り入れ、リベラルアーツの単位があります。社会に出た時に技術に特化するのではなく、社会のことを学んで人間性も深めるという形で教育を進めているところです。高専は全国で国公立合せて57校です。国立だけで51校です。高専の卒業生を技科大が受け入れる訳です。愛知県の場合は、豊田高専です。豊田高専が愛知県唯一の高専になります。岐阜は岐阜高専、静岡は沼津高専です。全国でだいたい一県一校です。普通でしたら5年生で社会に出るところをもう少し学びたい、技術をもっと得たい、最新の研究をしたいという希望のある学生のために技科大が設置され、我々はそれに応えての教育をしながら社会に送り出しているということでございます。ですので、このような学生支援のお話をいただける事は大学及び学生にとって、非常に嬉しいことです。本当にありがとうございました。

☆優秀クラブ賞、優秀会員賞のご報告

名古屋キワニスクラブに優秀クラブ賞、徳岡前会長に優秀会員賞が表彰されましたので、ご報告致します。賞状は入り口に掲示してございますので、ご覧ください。

☆会務報告

- ・ 本日例会終了後、役員会を櫛の間にて開催いたします。ご関係の方はお集まり下さい。
- ・ 社会公益賞とキワニス文庫の贈呈先につきましてご推薦の願いをお送り致しました。皆様ご承知の通り、社会公益賞は『社会公益のために長い間献身的努力を続けている人たちの功績に敬意を表するとともにその尊い存在を世間に知らしめようという趣旨』で贈呈しています。また、キワニス文庫は『子ども達の活字離れを憂い、将来、本が大好きな子ども達に育て欲しい』との願いをこめて子ども達に図書を贈呈しています。名古屋キワニスクラブにとって最も大切な社会奉仕活動になります。推薦したい団体、お心当たりの団体等がありましたら、12月3日（金）までに事務局にご推薦ください。
- ・ 11月5日（金）の例会は「令和4年度第1回通常総会」です。例会案内と出欠返信用ハガキをお送り致しました。お手数ですが、おハガキにて出欠のご連絡をお願い致します。万一ご欠席の場合は、必ず委任状をご提出ください。当日は総会を先に行いますので、お食事は13時以降となります。
- ・ キワニスクラブ恒例のクリスマス会ですが、去年は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりましたが、今年は感染症予防対策を徹底し、開催することに致しました。お日にちは12月16日（木）の夜に開催いたします。木曜日での開催となりますので、ご確認の上ご予約くださいますようお願い申し上げます。
なお、今回は、新型コロナウイルス感染症予防の為、ご家族の参加は大人の方に限らせて頂きます。もちろん、会員お一人でのご参加も大歓迎です。初参加の方もお気軽にお越しくだ

さい。

- ・ 次回のキワニスドールを作る会は、11月19日（金）10時30分より名古屋マリオットアソシアホテル17階桐の間で開催致します。女性会員そして奥様方には是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。
- ・ 明日10月23日（土）に南山カントリークラブにてゴルフ会を開催致します。集合時間は8時45分ですのでよろしくお願い致します。
- ・ 次のゴルフ会は、11月20日（土）に中京ゴルフ倶楽部 石野コース、2022年3月26日（土）に多治見カントリークラブで開催致します。オープン参加も大歓迎ですので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。
- ・ ご好評をいただいております音楽と観劇の会でございますが、この次は2022年2月23日（水・祝）に愛知県芸術劇場コンサートホールで上演されます『メ〜テレ Premium Concert 2022』を鑑賞致します。ご案内はお送り致しました。奮ってご参加くださいますようお願い致します。
- ・ 音楽と観劇の会「Home, I'm Darling ホーム、アムダーリン」のチケットを本日受付でお渡し致しております。お申込み頂いてチケットを受け取られなかった方は後ほど受付にお越しく下さい。

☆ ハッピーボックス

野嶋 孝会員ーお誕生日
福智 寿彦員ーお誕生日

◎次回例会 令和3年10月29日（金）◎

株式会社 JTB 名古屋事業部 執行役員 中部エリア広域代表
名古屋事業部長 内海 勝仁 会員
「旅行業界の現状とあらたな取り組み」

♪ 申込み受付中の行事

ドールを作る会

締切はございません

日時：令和3年11月19日（金）10：30～12：00

場所：名古屋マリオットアソシアホテル 17階 桐の間

第295回 ゴルフ会

締切【10/29】

日時：令和3年11月20日（土）8：24 インスタート

場所：中京ゴルフ倶楽部 石野コース

第296回 ゴルフ会

締切【3/4】

日時：令和4年3月26日（土） ※スタート時間未定

場所：多治見カントリークラブ